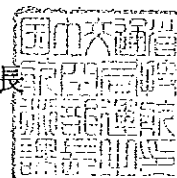


国空航第485号
平成22年8月30日

社団法人 全日本航空事業連合会 会長 殿

国土交通省航空局技術部運航課長



小型飛行機の運航の安全確保について

8月23日、神戸空港において小型飛行機が滑走路上に胴体着陸し、機体を損傷するという航空事故が発生した。当該事故の原因は、現在、運輸安全委員会で調査中であるが、平成16年以降に我が国の空港で発生した滑走路上に胴体着陸し、又は機体の一部を接触してかく座又は停止した事案のうち、9件の原因は、操縦者が脚下げ操作を失念したこと、又は誤った脚上げの操作を行ったことと推定されている。

このような事案は、重大な人身事故につながる恐れがあるだけでなく、滑走路閉鎖等による他機の運航への影響が発生する場合もある。

貴会においては、常日頃より、会員に対して安全運航について所要の指導がなされているものと承知しているが、同種事案の発生を防止するため、傘下会員に対して、着陸準備には十分な余裕をもち、着陸時の操作を確実に実施することにより、小型飛行機の運航の安全確保について万全を期するよう周知徹底されたい。